



財団法人早期胃癌検診協会

News Letter

第7号：発行日 平成23年9月1日

感染防止対策に 予防ワクチンの接種を！

ワクチンとは、人間が本来持っている「病原体に対する抵抗力（免疫）」のシステムを利用して、さまざまな感染症に対する「免疫」をあらかじめ作ることを目的とした製剤のことです。ワクチンの成分は、病原体あるいは細菌の毒性を弱めたり失わせたりしたものです。あらかじめワクチンを接種して免疫を作っておくと本当の病原体が侵入してきたときに、防衛反応が働くので、発病を予防したり症状を軽くすることができます。このように、ワクチンをあらかじめ接種することを予防接種といいます。

◆自分自身の健康を守るため、また周りの人への感染を防ぐためにも予防接種を受けましょう◆

予防接種ワクチンの種類

生ワクチン	不活化ワクチン
生きた病原体の毒性を弱めて作ったもの。 1回の接種で長期にわたり効果が得られるケースが多い。	病原体を殺して免疫を作るのに必要な成分だけを取り出して作ったもの。 複数回の接種が必要なケースが多い。
ポリオ、麻しん(はしか)、風しん(三日はしか)、BCG、おたふくかぜ、水ぼうそう、黄熱等	インフルエンザ、B型肝炎、肺炎球菌、日本脳炎、ジフテリア、百日咳、破傷風、A型肝炎、狂犬病、子宮頸がん等

予防接種の種類

任意接種：希望者が各自、医療機関で受ける接種です。

インフルエンザ、肺炎球菌、B型肝炎、おたふくかぜ、水ぼうそう、A型肝炎、狂犬病などがあります。

接種費用は全額自己負担となります。

定期接種：予防接種法に基づいて国がすすめる接種です。

対象年齢における接種費用は公費で負担されます。

接種間隔

生ワクチン

4週間以上の間隔をあける

不活化ワクチン

1週間以上の間隔をあける

ワクチンの注射は「上腕」
皮下注射が一般的です



※ 海外出張などで渡航される方は、渡航先や滞在期間により予防接種が必要となることがあります。専門の医療機関（厚生労働省検疫所ホームページ <http://www.forth.go.jp/> 参考）でご相談のうえ、渡航までの日数や接種間隔などを考慮しながら予防接種計画をご検討ください。

インフルエンザワクチン接種は、10月より開始します

日本では、2011年4月から新型インフルエンザ(A/H1N1)型にも対応した季節性インフルエンザ対策が実施されています。

インフルエンザの感染力は非常に強く、日本では毎年約1千万人、約10人に1人が感染しています。インフルエンザワクチンの接種によって免疫をつけた人が多いほど感染症の流行を抑えることができるので、社会全体の感染症防止にも大きな効果が期待できます。早めのワクチン接種を心がけましょう。

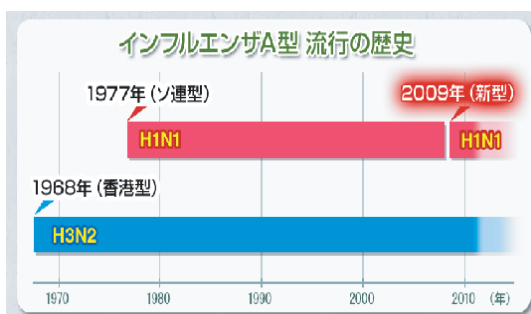


◆ インフルエンザワクチンの接種時期

ワクチンの予防効果は、接種後2週間からはじまり、約5か月間持続するといわれています。日本のインフルエンザの流行は通常12月下旬～3月上旬が中心になりますので、12月上旬までに接種することをお勧めします。特に予防接種を勧める方は、肺や心臓に重い病気のある方、65歳以上の方、お年寄りや小さなお子さんと接触することが多い方、集団生活を送っている方、妊娠中の方々です。

◆ インフルエンザが毎年流行する理由

インフルエンザウイルスは毎年のようにウイルスの抗原性が少し変化するので、前年のワクチンは有効性がありません。これに対応するために**予防接種は毎年必要**です。世界保健機構(WHO)が推奨したウイルス株を基本にして、日本における前シーズンの流行状況を考慮しながらワクチンを作ります。



◆ インフルエンザワクチンの接種回数

13歳未満の方は、免疫効果を考慮して2回注射します。それ以外の方は1回の接種としますが、著しく免疫反応が抑制されている方は、医師の判断により2回注射することがあります。

◆ インフルエンザの副反応

ワクチン接種に伴い、まれに発疹、じんましん等があらわれることがあります。体調に変化があれば速やかに医師の診察を受けてください。また注射部位が赤く腫れる、痛むなどの局所反応がありますが、通常3～4日で消失します。接種上の注意として、インフルエンザワクチンには鶏卵由来成分が残っているため、**卵アレルギーが明らかな人**は、あらかじめ医師とよく相談してください。

当協会では、以下の予防ワクチン接種を実施しています。(予約制)

①インフルエンザ (毎年10月～翌年3月頃) ②成人用肺炎球菌 ③子宮頸がん ④B型肝炎

料金については助成制度の適応になる場合もありますので、各自自治体へお問い合わせください。

①～④に関する予防ワクチン接種のご予約やご相談は、医事課 (電話 03-3668-6800) までご連絡ください。



今後もニュースレターを発行し、皆様の健康管理に少しでも参考になればと思います。ぜひ皆様からのご意見、ご感想をお寄せください。今後もこのニュースレターやホームページ等を通じ、役立つ情報を発信してまいります。今後ともよろしくお願いたします。